

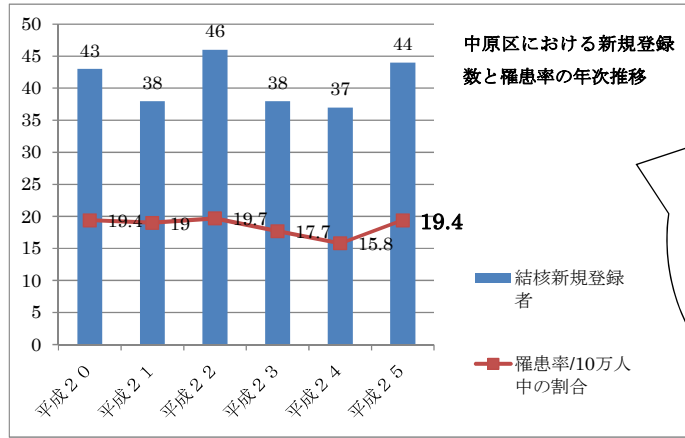
# 中原区結核情報 (平成25年登録版)



編集・発行 平成26年11月  
 中原区役所保健福祉センター  
 地域保健福祉課 結核担当  
 電話 044-744-3261  
 FAX 044-744-3342

日頃から保健所の結核対策業務にご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
 結核は過去の病気と思われがちですが、現在でも川崎市では毎年270人程度の方が発症されています。若者の不規則な生活や糖尿病やがんなど基礎疾患をもつ高齢者が多いことなどが影響しています。風邪とよく似た症状から始まることの多い結核ですが、発見が遅れると命にかかわる感染症です。今回は中原区における平成25年1月1日から12月31日までに登録された患者の傾向についてご報告いたします。

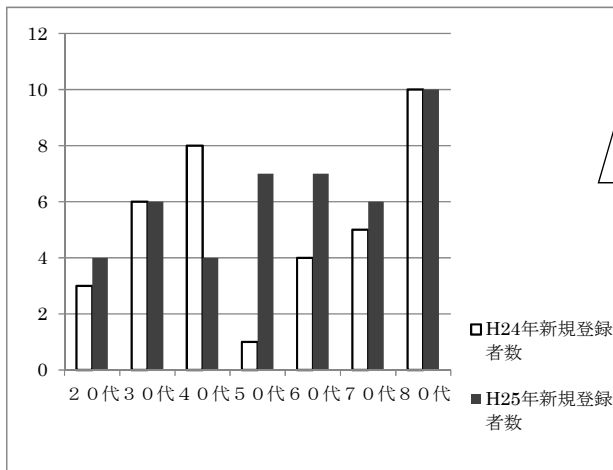
## 1. 中原区における結核登録状況の年次推移



平成22年度より減少傾向にありましたが、25年度は一転して増加しました。平成25年全国平均罹患率16.1と比較しても、中原区はまだまだ高い状態です。

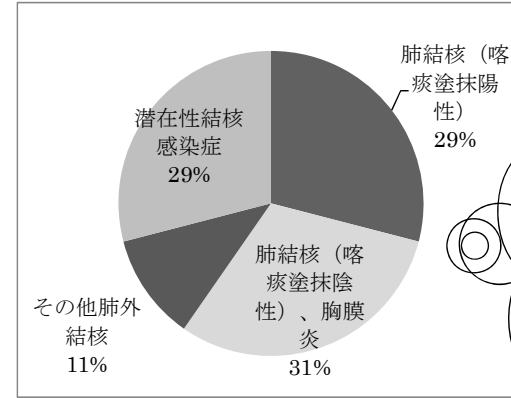
## 2. 平成25年の1年間に登録された結核患者の特徴

### (1) 年代別比較



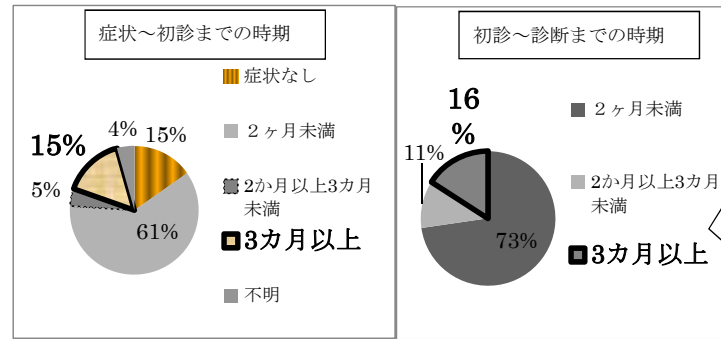
壮年期の方の発症が増えている一方で、2歳以下のお子さんをもつ保護者が肺結核を発症する例が3件ありました。いずれも症状出現時、お子さんの受診（予防接種など）の際に小児科で診察を受けています。  
症状が長引く場合、胸部X線検査の実施や他医療機関への紹介を早めをお願いします。  
 また、小児の周囲で結核患者が発生した場合、できるだけ早く健診等の対応ができますよう中原区役所保健福祉センターへ速やかにご連絡下さい。

## (2) 病名



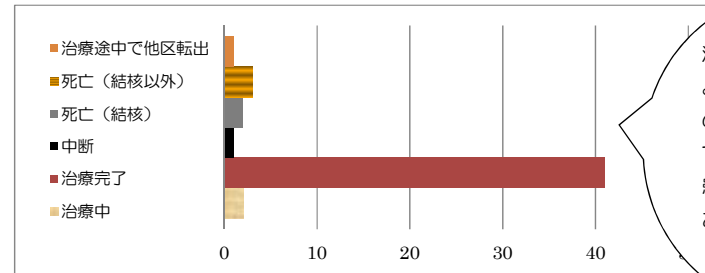
「潜在性結核感染症」（過去には「初感染結核」などと呼ばれ、予防内服の対象としました）と診断された方は18名でした。  
 【9歳以下5名、20代2名、30代3名、40代4名、50代2名、60代2名】  
 ⇒コッホ現象のあったお子さんの増加、小さいお子さんを持つ結核患者の増加のため、9歳以下の方が増えています。

## (3) 症状～初診～診断に要した時間



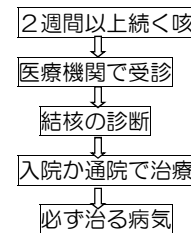
「症状～初診」「初診～診断」までの期間が3か月以上かかる患者が全体の2割近くにみられています。

## (4) 治療成績



治療の自己中断がないよう、保健所では患者様の服薬サポートを行っております。患者様を診られていて、お気づきの点がありましたらお知らせ下さい。

## 3. 長引く咳は赤信号 ～早期に受診・治療を開始するために～



咳や痰が出たり熱が出たとき、真っ先に風邪を引いたと思うでしょう。しかし…  
 市販薬を内服しても、医療機関で加療されても咳が治まらない…こんな場合もあるかと思いますが。高齢者においては微熱のみ、食思不振や体重減少のみといった症状の症例も散見されますので、結核の可能性も含めて御高診いただけますと幸いです。